

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日		化学療法委員会承認年月	平成	年	月
登録診療科	婦人科	申請医師					
レジメン名	AP(アプレビタントカプセル)						
疾患名	子宮がん・卵巣がん						
適応分類		適応の備考					
1コース日数	21	日間	総コース数		コース	催吐性リスク	高度

抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン50mg/m² day1、ドキシソビシン60mg/m² day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	ソリューゲンF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●																		
	点滴静注		/	/																					
2	側管	アロキシン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																				
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	シスプラチン注	50 mg / m ²	2 時間	●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する																									
4	主ルート	ソリューゲンF500mL	1 本 / body	2 時間	●	●	●																		
	点滴静注		/	/																					
5	側管	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ドキシソビシン注	60 mg / m ²	60 分	●																				
生食または5%糖液で希釈する(ソリューゲンFと併行投与) 総投与量は500mg/m ² まで																									
6	主ルート	ソリューゲンF500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注		/	/																					
7		アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																				
	経口投与		/	/																					
抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用																									
8		アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																		
	経口投与		/	/																					
分1午前中に服用																									
9		デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																
	経口投与		/	/																					
分2朝昼食後																									

【投与上の注意】

・day2～5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アプレビタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン: 適宜利尿剤を投与